

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 23 年 2 月 3 日 (2011.2.3)

【公表番号】特表 2009-532019 (P2009-532019A)

【公表日】平成 21 年 9 月 10 日 (2009.9.10)

【年通号数】公開・登録公報 2009-036

【出願番号】特願 2008-555751 (P2008-555751)

【国際特許分類】

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 5/00 Z N A B

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 22 年 12 月 13 日 (2010.12.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

R N A から膜ホーミングポリペプチドを一過性に発現する成熟樹状細胞を含む組成物であって、

前記膜ホーミングポリペプチドがセレクトインであり、

前記樹状細胞が前記セレクトインのリガンドにより被覆された表面においてローリングする能力を有する組成物。

【請求項 2】

前記セレクトインが E セレクトイン、L セレクトイン、P セレクトイン、およびそれらのキメラからなる群より選択される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記セレクトインが E / L セレクトインキメラである請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

( i ) 前記樹状細胞がシアリル ルイス <sup>x</sup> により被覆された表面においてローリングする能力を有すること、

( ii ) 前記樹状細胞が単球由来樹状細胞であること、および

( iii ) 前記樹状細胞がヒト樹状細胞であること

の少なくともいずれか一つを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 5】

前記樹状細胞が更に、対象の抗原である少なくとも一種の他の抗原を一過性に発現する、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 6】

前記少なくとも一種の他の抗原が

( i ) 腫瘍関連抗原であるか、または

( ii ) 病原体特異的抗原であり、任意に前記病原体が H I V または H C V である、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 7】

単離された、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項において定義される成熟樹状細胞。

## 【請求項 8】

請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の組成物を含むワクチン。

## 【請求項 9】

癌治療用または病原体感染の治療用の薬剤の製造における、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の組成物の使用。

## 【請求項 10】

前記薬剤が静脈内投与に適する、請求項 9 に記載の使用。

## 【請求項 11】

膜ホーミングポリペプチドを一過性に発現する成熟樹状細胞を産生する方法であって、  
エレクトロポレーションを用いて、前記膜ホーミングポリペプチドをコードする RNA  
により成熟樹状細胞を一過性にトランスフェクトする工程からなり、  
前記エレクトロポレーションは、100 ボルト / mm ~ 150 ボルト / mm の電界強度  
および 0.8 ms ~ 2 ms の矩形波パルス長で実施され、かつ、  
膜ホーミングポリペプチドがセレクトインである方法。

## 【請求項 12】

前記成熟樹状細胞がヒト樹状細胞であること、および  
前記セレクトインが E セレクトイン、L セレクトイン、P セレクトイン、およびそれらの  
キメラからなる群より選択されること  
の少なくともいずれか一方を特徴とする請求項 11 に記載の方法。

## 【請求項 13】

前記セレクトインが E / L セレクトインキメラである請求項 12 に記載の方法。

## 【請求項 14】

対象の抗原である少なくとも一種の他の抗原をコードする RNA により前記成熟樹状細胞  
を一過性にトランスフェクトする工程を更に含む、請求項 11 ~ 13 のいずれか一項に記載  
の方法。

## 【請求項 15】

前記少なくとも一種の他の抗原が、腫瘍関連抗原または病原体特異的抗原であり、任意に  
前記病原体特異的抗原が HIV または HCV からの抗原である、請求項 14 に記載の方法  
。